

目指すは70歳で名脇役

大部屋出身の俳優 土平ドンペイさん(53) 草津市

はい上がる人

わたしの歩跡

まだそんなことをしたら、単に映りがりとか、目立ちたがりとかってとらえられるので、今は抑える方を重点的にやっていますね。

△京都の大部屋時代に先輩に勧められて以来、30年近く日本アカデミー賞を投票する協会委員になっている▽

て、そこばかり2時間くらい見てるんですね。映画を楽しみに行ってるんじゃないかと、仕事の一環として見るんです。

年間費を払えば、決まった映画館に提示だけで入れるんです。映画を見に行ったあとに「何見たん?」「なんやったけ」「題名も知らんの?」って言うのがよくあって。それというのは、俺だったらあの辺の役やなっ

俳優として意欲や情熱を失ったというところは一つもないんです。ただ、欲と煩惱がほんまなくなつて。絶対こうなんねんっていうのが薄らいできて。70歳で名脇役っていう目標のもとでやっています。今を必死に生きれば、絶対そうなるって思うようになってきました。

名脇役といえば、最近なら赤木春恵さん(2018年に死



原京の地で。高校時代に当時の駅構内で「俳優募集」の張り紙を見たことから、俳優の道が切り開かれた

いすれも京都市のJR京都駅ビルの大階段で

演じずとも、にじむ雰囲気



この大きな手で、小さな小さなチャンネルをつかんで

分がやるべきやって自然と思わせる空気を出せる人、どんな人か、どんな人が名脇役やって思いますね。

自分も含めて、まだまだ自分の芝居を見せようとする人が多いい。役者は悲しいかな、やってしまふんです。やらんと自分の存在感ないんどうちゃうかって。ここで構えているだけやねんって本気で思えるようになったら、名脇役の枠に入っていくの

去)。セリフがなくとも、この校長やから、金八先生(テレビドラマ「3年B組金八先生」)

かもしれないね。まだまだ無理ですけど。それには年齢が必要ですよ。

俳優という仕事は、何をしても無駄がない。ホテルで1年働いたのも、後々、自分のためになると思うんですよ。何もしないで70歳を迎えたとき、初老の人がホテルマンを務める役が来たら、知っている範囲で演じますけど、経験があったらあのとき学んだことが出せるわとか、絶対つながるんですよ。脇役は生きてきた証しが出るんです。人生の証し。40までバイトして、50で花咲いたという方が、20、40にやってきたことが出るから上手に花咲くって思うんですよ。

目標は強いて言えば、真さんの渥美清さん(1996年に死去)。あの雰囲気を出せる役者って、代わりはいひんじやないですか。代わりがないって言われるような役者になりたいですね。怪優って言われるとかね。70まで現役やれたら後ほどうでもいいや。ははは。

△その他大勢から唯一無二の俳優へ。それは、勇気を出して一歩踏み出し、それぞれの場力の限りを尽くしたからにはかならない。「はい上がる人」がどこまではい上がるのか、応援したい▽

「わたしの歩跡」シリーズを終了します。ご愛読ありがとうございました。ご感想はメール(ohzawa-s@mainichi.co.jp)へ。